近鉄郡山駅移設に関する基本協定締結について

令和5年2月3日

1．今般の協定について

「城下町の風情を活かし、歩いて健康に暮らすことができるまちづくり」を目指し、県・市で策定した「近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画」（令和元年度）に基づき、駅舎の移設や周辺整備に関する検討を進めてきました。

今年度に入り、県も補助する形で市が実施した概略設計が取りまとまったことを踏まえ、近鉄も加えた三者で、事業推進の枠組みを決めるための協議を精力的に進めてきたところです。

その結果、近鉄郡山駅の移設に関し、役割分担や費用負担といった事業推進の基本的な枠組で合意に至ったことから、本日、基本協定を締結するものです。

＜基本協定の主な内容＞

①駅の移設〔新たな橋上駅舎の整備等〕は、近鉄が施行。
費用（40億円強となる見込み※）は、国庫補助を活用の上、県・市・近鉄の三者で均等に負担。

②駅前広場・歩行者デッキ等の駅周辺施設の整備は、市が施行。
費用は、まちづくり連携協定制度に基づき、県・市で、負担額について定める個別協定を別途締結（本協定と同日付け）。
（上記①②を合わせた全体事業費は、100億円強の見込み※）

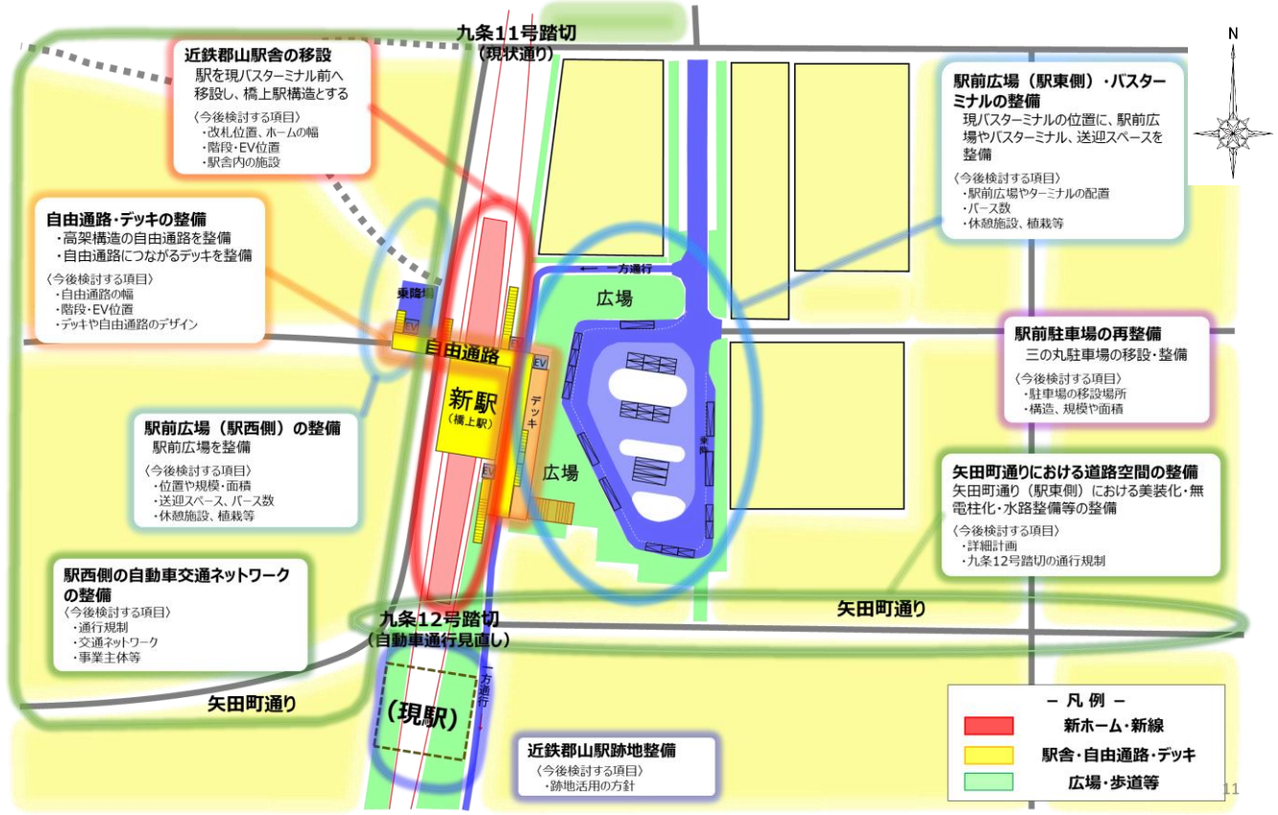
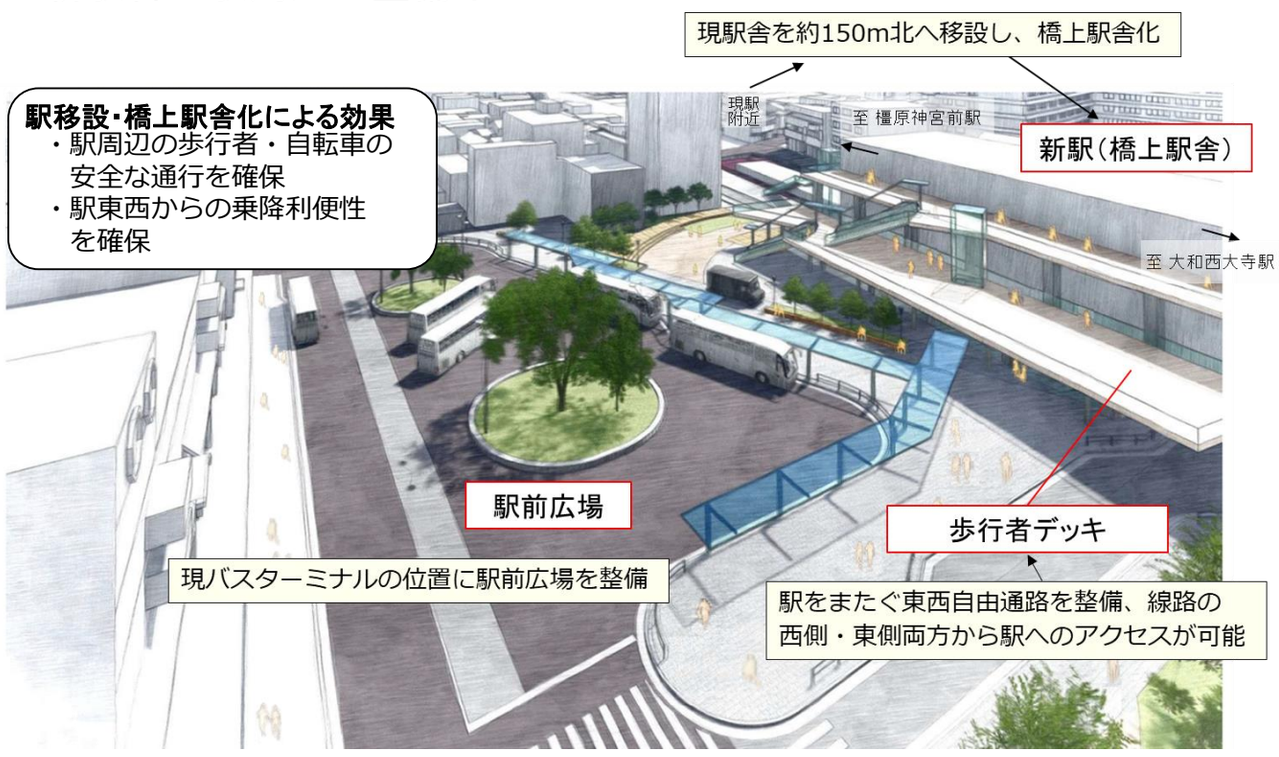
※市が実施した概算設計による

2．今後の取組

○令和5年度：
・市において、工事着手に向けた現地調査を開始（県補助予定）
・県において、周辺まちづくりの機運醸成セミナー等を開催

○関係者が連携し、**令和12年度（2030年度）の新駅舎供用開始**を目指して取組みを推進。

＜近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本計画図（令和元年7月策定）＞



＜新駅舎と駅周辺の整備イメージ＞